

ドラッグインフォメーション

平成 28 年 4 月改訂

販売名	マクロゴール軟膏「ヨシダ」			製造販売	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 マクロゴール軟膏			発売年月	2010 年 11 月	
洋名	Macrogol Ointment			薬価収載年月	2010 年 11 月 19 日	
一般名	マクロゴール軟膏			薬 価	10g 25.10	健保適用
剤形	軟膏剤	規制区分	普通薬 局方	日本標準商品分類番号	877123	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード		7123700M1130		YJコード	7123700M1130	
性 状	白色で、わずかに特異なおいがある。					
組 成	本剤 1,000g中、マクロゴール 4000 を 440g、マクロゴール 400 を 560g 含む。					
用 途	軟膏基剤として調剤に用いる。また、皮膚保護剤として用いる。					
配 合 変 化	ヨウ素、タンニン酸、フェノール、サリチル酸では液化が起こる。スルファミン、クリサロビン、水銀製剤とサリチル酸の混合物では着色するが、効力には変化がない。またペニシリン、バシトラシンは速やかに不活化される。					
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・本剤は約 52℃で融ける。 ・皮膚面から吸収されることはほとんどない。ほかの基剤に比べ刺激は少ないが、乾燥した皮膚には刺激を与える。 ・ほとんど白色無臭の、油脂様外観と触感を有する水溶性の軟膏基剤で、他の薬品との混和性がよく冷却による固化が速やかなため、冷却中に薬品を分離することがない。 ・吸湿性が大きく、皮膚面の水性分泌物を吸収して除く力が強いので、特に漿液性びらんにも有効である。 ・水溶性であるから皮膚面からの洗去も容易で、衣服寝具を汚さない。 ・ワセリン基剤に比べて主薬の皮膚面からの吸収が良い。 ・本基剤は水に溶けるため 3%以上の水を加えて軟膏とすることができない。しかし、セタノールを 5%添加すると、水溶液は 10%、エタノール溶液は 5%まで混和できる。 <p>貯 法 : 気密容器に入れ、室温保存</p> <p>包装単位 : 500g</p>					
文 献	吉田製薬株式会社 学術部					
請求先	東京都中野区中央5-1-10					